株式会社フジ

2027年2月期 第2四半期(中間期)
決算説明会

2026年10月8日(木)

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

本日の内容

1 連結業績概要

・連結決算概要　・連結損益計算書

2 単体主要施策

・店舗改装状況　・商品売上動向　・販売費及び一般管理費

3 財務状況

・連結貸借対照表　・連結キャッシュ・フロー計算書　・経営指標

4 業績予想

※当資料内では、「2027年2月期」を「2026年度」と表記

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

1 連結業績概要

・連結決算概要　・連結損益計算書

2 単体主要施策

・店舗改装状況　・商品売上動向　・販売費及び一般管理費

3 財務状況

・連結貸借対照表　・連結キャッシュ・フロー計算書　・経営指標

4 業績予想

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

連結決算概要

◆売上は伸び悩むも、利益改善に向けた土台を構築

✓消費者の節約志向継続による厳しい事業環境が継続
✓「営業力強化」と「コスト構造改革」を重点推進
✓改装・建て替え投資を継続し、競争力向上を実現
✓販売費及び一般管理費は前年比2.7％削減し、荒利益率は改善基調
✓一方で店舗休業影響や前年米特需反動減により売上・荒利益は前年実績を下回る

【連結経営成績】

（単位：百万円、％）

	2025年度 中間期		2026年度 中間期		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減	前年同期比
営業収益	408,542	—	398,069	—	△10,473	△2.6
営業利益	4,501	1.1	2,291	0.6	△2,209	△49.1
経常利益	5,356	1.4	2,518	0.7	△2,838	△53.0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,645	0.7	3,109	0.8	464	17.6

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

連結損益計算書

［売上高］

✓ “全力プライス”“トップバリュ”商品の拡大による“安さ”訴求を継続
✓ 夕刻を中心とした品揃えの見直し、できたて商品の充実による客数増と売上高の拡大
✓ 衣料品の不調や昨年の米特需に対する売上反動減
✓ 建て替えや改装による休業、店舗配置の最適化を目指した店舗閉鎖に伴い、一時的に売上高は減少
✓ 結果、既存店で補うことができず売上高は前年を下回る

【連結損益計算書】

（単位：百万円、%）

	2025年度中間期 (2025年3月1日～2025年8月31日)	2026年度中間期 (2026年3月1日～2026年8月31日)	前年同期比
売上高	393,276	383,750	△2.4
営業収益	408,542	398,069	△2.6

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

連結損益計算書

［営業利益］

✓ 商品管理力向上による見切り・廃棄の削減など荒利益構造の改善を進めるものの、コスト高による仕入原価の上昇で値入を圧迫し、荒利益高は前年を下回る

✓ 一方、作業効率の改善や、働き方の多能化による生産性改善などを継続した結果、販売費及び一般管理費を縮減

【連結損益計算書】

（単位：百万円、%）

	2025年度中間期 (2025年3月1日～2025年8月31日)	2026年度中間期 (2026年3月1日～2026年8月31日)	前年同期比
売上総利益	110,024	105,484	△4.1
営業総利益	125,289	119,803	△4.4
販売費及び一般管理費	120,788	117,512	△2.7
営業利益	**4,501**	**2,291**	**△49.1**

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

連結損益計算書

［親会社株主に帰属する中間純利益］

✓退職給付制度間の移行等により特別利益を計上し、中間純利益は増益

【連結損益計算書】

（単位：百万円、%）

	2025年度中間期 (2025年3月1日～2025年8月31日)	2026年度中間期 (2026年3月1日～2026年8月31日)	前年同期比
営業外収益	**1,251**	**532**	**△57.5**
営業外費用	396	305	△22.8
経常利益	5,356	2,518	△53.0
特別利益	948	3,547	274.0
特別損失	2,864	1,143	△60.1
税金等調整前中間純利益	3,440	4,922	43.1
親会社株主に帰属する中間純利益	2,645	3,109	17.6

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

1 連結業績概要

・連結決算概要　・連結損益計算書

2 **単体主要施策**

・店舗改装状況　・商品売上動向　・販売費及び一般管理費

3 財務状況

・連結貸借対照表　・連結キャッシュ・フロー計算書　・経営指標

4 業績予想

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

店舗への積極投資による、持続的な成長と企業価値向上

✓ 競争力向上と利便性向上を図るため、16店舗改装、1店舗新規オープン

✓ 一方、エリア戦略に基づく閉店3店舗および、建て替えによる休業9店舗による売上高(単体)減への影響は△41億円

改装店舗数推移(累計)

	2024年度	2025年度	2026年度 (中間期)
改装	37	37	16
S&B・新店 (業態変更含む)	6	5	1
計	43	42	17
累計		85	102

現在の休業店舗 建て替えオープン計画

2026年度	2027年度
4店舗	4店舗

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

部門ごとの課題に対応し売場競争力を強化

✓ 生鮮を中心に、簡便調理商品や即食商品が好調に推移

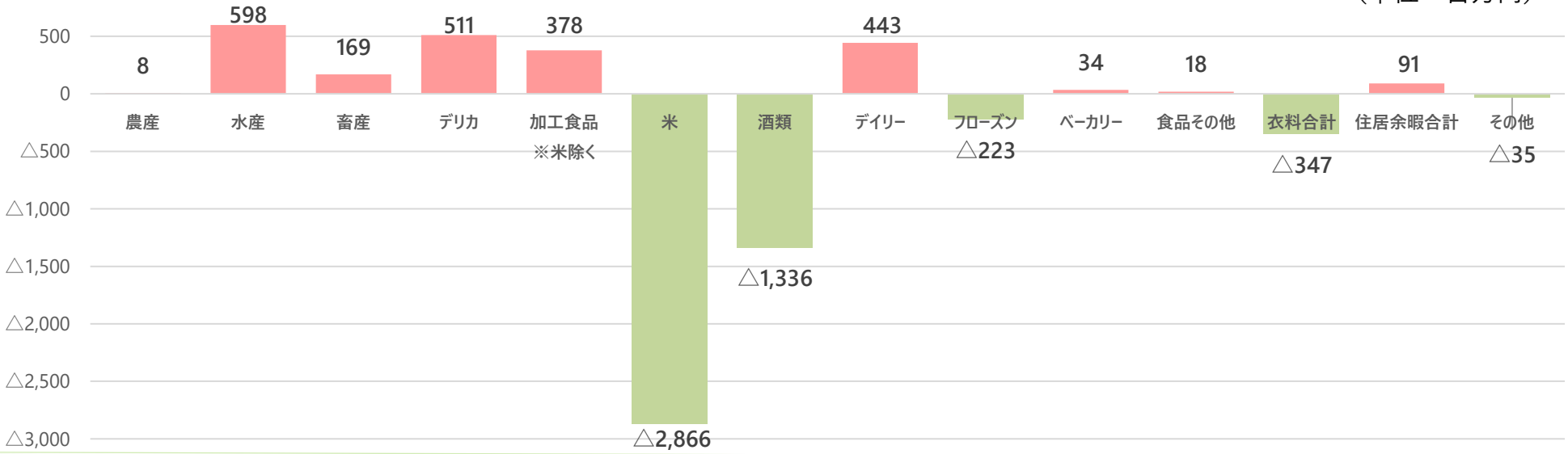
✓ 農産は、前年の相場高反動減が大きく影響するも、2Qで回復基調

✓ 米は前年の米価格高騰による反動減が中間期を通して影響

✓ 衣料品・酒類は、節約志向の継続や酒類需要低迷の影響を受け低調に推移

【部門別売上前年差（既存店）】

（単位：百万円）



Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

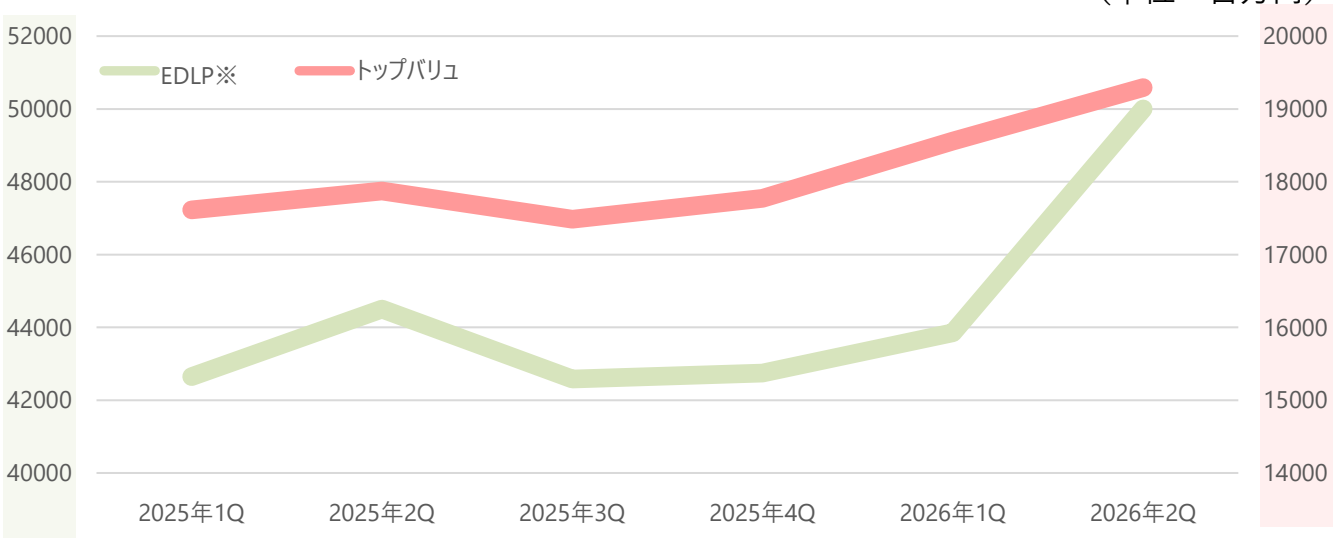
EDLPの取り組み推進による荒利益改善基盤の構築

✓ “安さ”訴求としてEDLP商品の拡大を進めたことで1Qは荒利益率に影響があったものの、2Q以降はSKU数の最適化や商品構成の見直し、自社オリジナル商品などの付加価値型商品の拡販を進め、荒利益率は回復基調で推移

✓ トップバリュを中心としたPB商品の拡販により、売上高と荒利益高の改善を実現

【EDLP商品売上高推移】

（単位：百万円）



※EDLPは、「全力プライス」「毎日が安い！」

＜EDLP の取り組み＞

トップバリュ

全力プライス

毎日が安い！
お値打ち価格

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

品揃えの最適化と管理力向上による荒利益率改善

✓ 取扱商品数(SKU)削減による品揃えの最適化

✓ 発注管理・精度向上による見切り・廃棄の削減

✓ 荒利益率の改善に寄与

荒利益率改善対策

■荒利マイナスの要因

値入不足

見切り・廃棄の増加

■荒利改善対策

①SKUの削減による最適化

＜SM店舗＞

SKU数 約10%削減

※売場面積2,000㎡(衣料含む)店舗

＜DS店舗＞

SKU数 約4.6%削減

※売場面積4,000㎡フルライン店舗

②見切り・廃棄削減による
発注管理・精度の向上

自動発注システムの徹底活用

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

生産性向上と経費コントロールにより販管費を大幅に削減

【人件費】✓従業員満足向上につなげるべく継続的な賃上げを実施

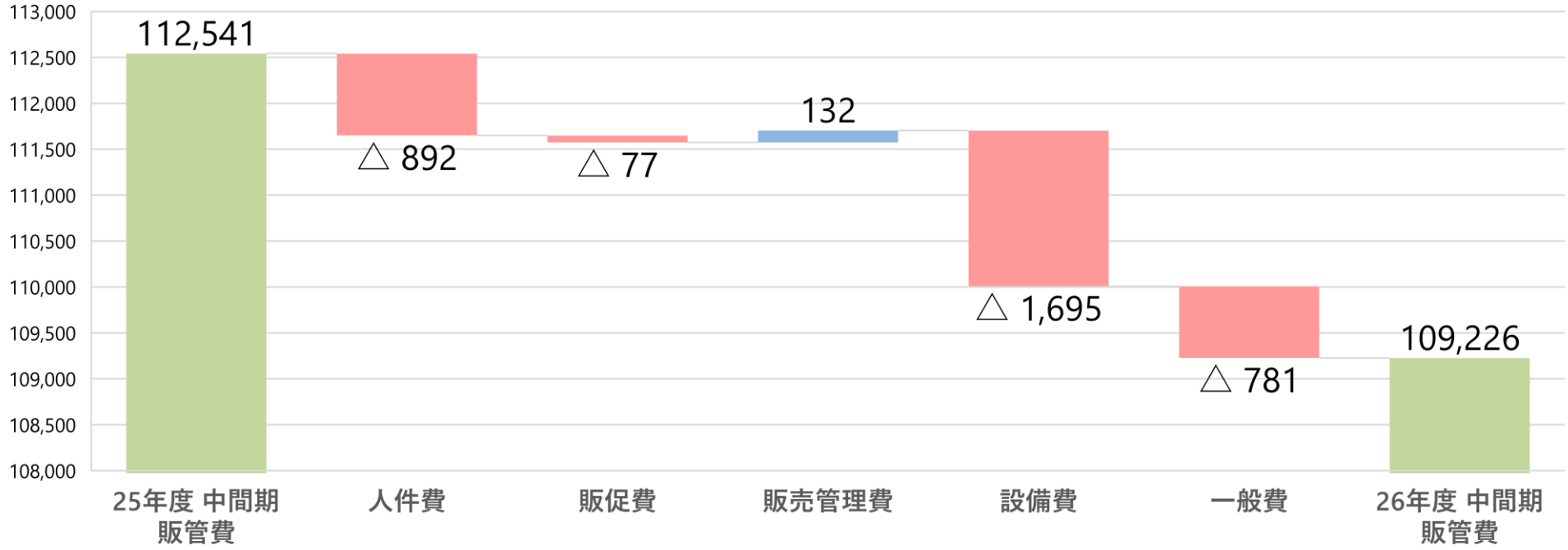
✓デジタルを導入した作業効率の改善

✓働き方の多能化による生産性向上

【設備費】✓計画的な店舗修繕と省エネの取り組みでコントロール

【販売費及び一般管理費（単体）削減の主な要因】

（単位：百万円、%）



FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

1 連結業績概要

・連結決算概要　・連結損益計算書

2 単体主要施策

・店舗改装状況　・商品売上動向　・販売費及び一般管理費

3 財務状況

・連結貸借対照表　・連結キャッシュ・フロー計算書　・経営指標

4 業績予想

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

連結貸借対照表

✓有利子負債を削減(長期借入金削減)

✓有利子負債依存度は業界水準を下回る8.9％に減少

【連結貸借対照表】

（単位：百万円、％）

		2026年度（2026年2月28日）		2026年度中間期(2026年8月31日)		
		連結	構成比	連結	構成比	増減
資産の部	流動資産	99,218	23.9	78,461	19.9	△20,757
	固定資産	315,993	76.1	316,039	80.1	46
総資産合計		**415,212**	**100.0**	**394,500**	**100.0**	△20,712
負債・資本の部	流動負債	133,777	32.2	121,691	30.8	△12,086
	固定負債	54,207	13.1	45,639	11.6	△8,568
	負債合計	187,984	45.3	167,330	42.4	△20,654
	純資産合計	227,227	54.7	227,170	57.6	△57
負債純資産合計		**415,212**	**100.0**	**394,500**	**100.0**	△20,712
		連結	有利子負債依存度	連結	有利子負債依存度	増減
有利子負債		44,121	10.6	36,134	8.9	△7,987

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

キャッシュ・フロー計算書

✓ 営業CF ：前年中間期末と当中間期末の曜日回りの差異による一過性影響及び現金収入を伴わない特別利益の計上などにより減少

✓ 投資CF ：有形固定資産及び無形固定資産の取得などにより減少

✓ 財務CF ：長期借入金の返済等による支出を継続

【連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

科目	2025年度 中間期	2026年度 中間期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,952	△586	△37,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,028	△8,514	△486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,729	△9,365	7,364
現金及び現金同等物の増減額	12,194	△18,466	△30,660
現金及び現金同等物の期首残高	26,291	38,943	12,652
現金及び現金同等物の期末残高	38,485	20,477	△18,008

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

主要な経営指標

（単位：%）

	2025年度 中間期	2025年度 通期	2026年度 中間期
総資産当期純利益率(ROA)	0.62	1.98	0.77
自己資本当期純利益率(ROE)	1.21	3.68	1.37
売上高営業利益率	1.14	1.43	0.60
売上高経常利益率	1.36	1.60	0.66
1株当り純資産（円）	2,533	2,619	2,617
自己資本比率	50.4	54.7	57.5
投下資本利益率(ROIC)	1.35	4.15	0.18

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

1 連結業績概要

・連結決算概要　・連結損益計算書

2 単体主要施策

・店舗改装状況　・商品売上動向　・販売費及び一般管理費

3 財務状況

・連結貸借対照表　・連結キャッシュ・フロー計算書　・経営指標

4 業績予想

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

4．2026年度 通期連結業績予想

【通期連結業績予想】

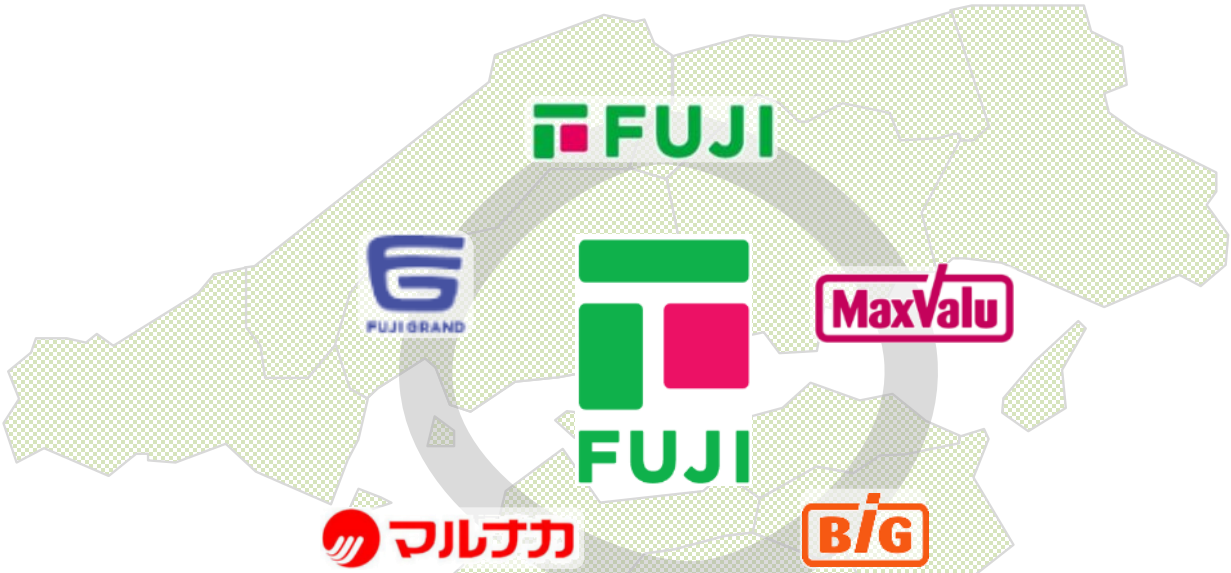
（単位：百万円、%）

	2025年度 (2026年2月期) 通期連結業績	2026年度 (2027年2月期) 通期連結業績予想	前年同期比
営 業 収 益	814,260	825,000	1.3
営 業 利 益	11,217	17,000	51.5
経 常 利 益	12,527	17,200	37.3
親会社株主に帰属する当期純利益	8,176	7,000	△14.4
1株当たり当期純利益	94.36	80.79	－
1株当たり配当	30円	30円	－

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

地元に、新しいつながりを。



＜予測に関する注意事項＞

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、将来の見通しに関する不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている 見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって、生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

※ この資料の著作権は(株)フジに帰属します。いかなる理由によっても当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

｜参考資料｜

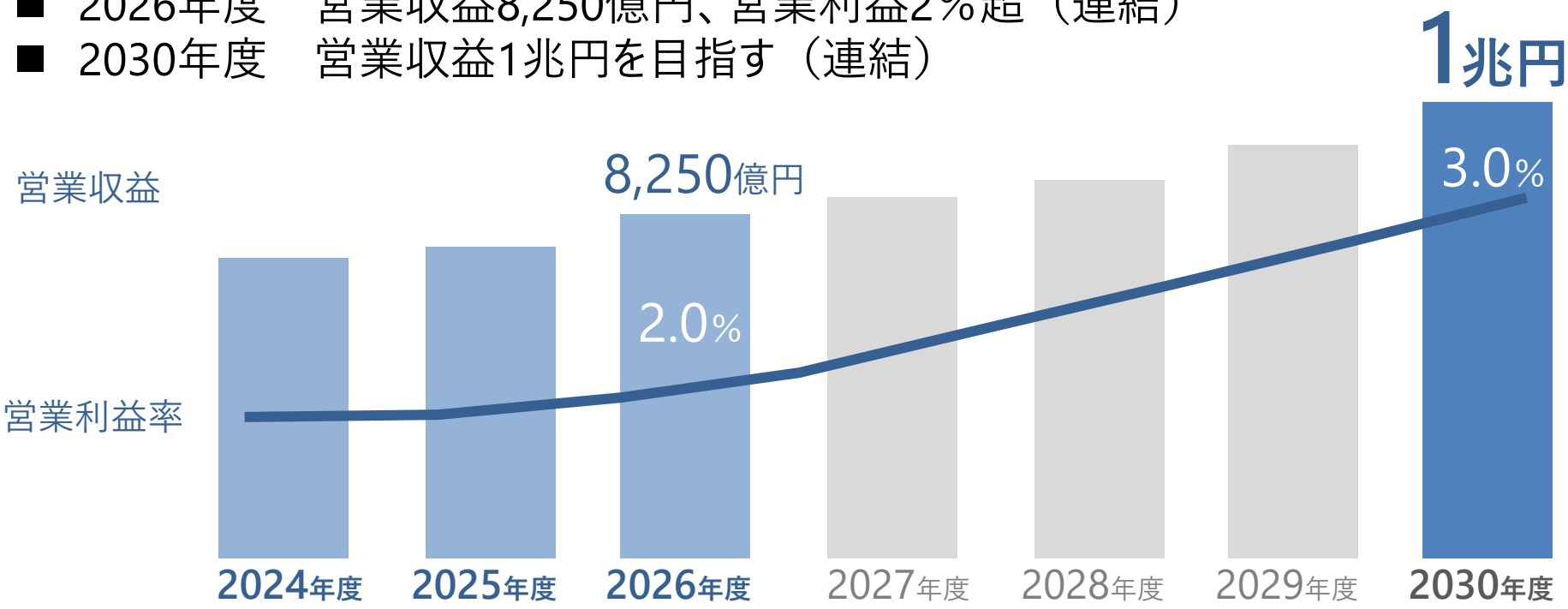
2026年度成長戦略

・2024-2026 中期経営計画
・2026年度 環境認識
・2026年度 取り組み事項
・ESG経営の取り組み

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

｜参考｜2024-2026 中期経営計画

■ 2026年度　営業収益8,250億円、営業利益2%超（連結）
■ 2030年度　営業収益1兆円を目指す（連結）



■ 2024年度～2026年度 **投資額**（累計）

- 店舗投資　**720億円**
  （活性化、S＆B、新店、修繕）
- 環境・グリーン　**60億円**
  （冷媒ガス交換、LED照明、空調）
- サプライチェーン・デジタル　**80億円**
  （P C、物流・マーケティング、業務効率化）

2024年～2026年投資額　860億円

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

■2026年度 フジを取り巻く環境

政 治
- 政府による経済対策の推進
- 物流2024年問題の深刻化
- 消費減税に対する備えの必要性

経 済
- 緩やかな内需主導の回復
- 金利上昇による支払利息の増加
- 賃上げ以上の物価高騰継続

お客さま
- 生活防衛意識の高まり
- 人口減少による客数減少
- 購買行動の多様化

競 合
- 業界再編と競争激化
- DS、ドラッグストアの出店加速
- 業態を超えた低価格競争激化

社 会
- 急速な高齢化の進展
- 少子化の進行と働き手の不足
- 気候変動による生鮮品相場変動

技 術
- 生成AIを使った店舗運営が進展
- ロボットによる品出し・管理の普及
- OMOの進行

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

■2026年度 フジの戦略

- **中期経営計画の実行推進**（最終年度として、統合課題の解決）

①企業文化の確立 ②既存事業の改革 ③事業インフラの統合とシナジー創出

- **営業力の強化**（新たな顧客ニーズへの対応や各エリアでの競争力の向上）

- “安さ”というお客さまのニーズにお応えするべく、EDLP商品の強化、トップバリュ・自社オリジナル商品の拡販などの施策を強化

- 快適な買物環境の実現を目指した店舗施設のリニューアルに積極投資

- **コスト構造改革**（将来に向け永続的に成長できる構造改革）

- インフレなどによるあらゆるコスト上昇に対する施策を早期より実施

- 省人化・省力化に向けての新たな価値を創出

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

営業力の強化

商品
価格訴求・PB・
自社オリジナル商品

店舗
改装による活性化
建て替え

コスト構造の改革

物流
プロセスセンター
再編による効率化

システム
統合による
省人化・省力化

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜商品＞

■多様なニーズに対応した“価格訴求”と“価値訴求”

価格訴求

節約志向の高まりに対応し、お求めやすい価格でくらしを応援

＜トップバリュ商品の展開＞

＜EDLPとして厳選商品の拡販＞

価値訴求

地元と品質にこだわった商品で豊かなくらしを提案

＜地元生産者・メーカーと連携＞

＜自社オリジナル商品の拡大＞

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

2025年度
全力プライス
売上高
294
億円

2026年度
全力プライス
売上高目標
350
億円

2030年度
全力プライス
売上高目標
500
億円

■価格訴求の強化

- 節約志向の高まりに対応

  期間を決めて厳選商品をEDLP商品として「毎日が安い」を実現

- アイテム数を増やし、厳選商品の分かりやすい売場を展開

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜商品＞

■プライベートブランド商品の拡大を加速

- 価格訴求の取り組みとして生活必需品を中心に導入拡大
- トップバリュ構成比は **10.1** %

さあ、ワクワクするほうへ!
トップバリュ

もっと安心、もっとやさしく
トップバリュ グリーンアイ

今日も明日も、ほしいもの
トップバリュベストプライス

【トップバリュ売上推移】

2024年度	2025年度	2026年度(目標)	2030年度(目標)
約631億円	約707億円	約900億円	1,200億円

前年比＋112%　前年比＋127%

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜商品＞

■自社オリジナル商品の拡大

- 地元のメーカー様とともに地元にこだわった商品を開発
- 結果、売上および構成比も年々拡大

＜2026年度 中間期＞

自社オリジナル商品

売上高 **165億円**

（前年比 **102.6%**）

構成比 **5.1%**

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜商品＞

■自社オリジナル商品の拡大

- 売上高は年々拡大
- 2030年度には売上500億円を目指す

2024年度 242億円

前年比 ＋138%

2025年度 335億円

前年比 ＋107%

(目標) 2026年度 360億円

(目標) 2030年度 500億円

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

■商品 (価格訴求・PB・自社オリジナル商品)

2025年度
売上高
2,815
億円

2030年度
売上高目標
4,000
億円

	2025年度実績	2030年度目標売上高	コメント
全力プライス	294億円	500億円	客数増加と販売の安定化
毎日が安い	1,430億円	1,560億円	客数増加と販売の安定化
プラスポイント/クーポン	125億円	155億円	価格以外での来店動機づくり 固定客化の推進
トップバリュ	631億円	1,200億円	荒利益高の積み増し
自社オリジナル商品	335億円	500億円	来店動機の強化・ファンの獲得
合計	2,815億円	約4,000億円	

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜店舗＞

■ 2024年度改装店舗状況

2024年度実施 **43店舗**

改装店舗売上前年比

2024年度	2025年度
102.6%	107.4%

（改装一例）

ザ・ビッグ防府店（山口県防府市）

- DS専用商品を徹底的に売り込み売上を伸長

2024年3月リニューアル

マルナカ白島店（広島県広島市）

- 重点商品やPBの拡販で売上を伸長

2024年5月リニューアル

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜店舗＞

■ 2025年度改装店舗状況

2025年度実施 **42店舗**

改装店舗売上前年比
2025年度
106.7%

（改装一例）

フジグラン神辺（かんなべ）（広島県福山市）

2025年6月リニューアル

マックスバリュ宝殿店（ほうでん）（兵庫県高砂市）

2025年7月リニューアル

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜店舗＞

■ 2026年度中間期　改装店舗状況

2026年度(中間期)実施 **16店舗**

改装店舗売上前年比
2026年度（中間期）
105.2%

（改装一例）

マックスバリュ今福店（兵庫県加古川市）

2026年5月リニューアル

マルナカ妹尾店（岡山県岡山市）

2026年5月リニューアル

2026年度(通期)で、建て替え4店舗オープンを計画

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜店舗＞

■ 移動スーパーの拡大

売上高前年比

108.1%

ルート数

826ルート

県別移動スーパー数

県名	拠点店舗数	車両数	県名	拠点店舗数	車両数
兵庫	17	22	香川	8	12
岡山	8	9	愛媛	24	41
広島	15	26	高知	8	10
山口	12	19	徳島	6	8
島根	1	2	鳥取	1	2

合計　拠点店舗 **100店舗**　車両台数 **151台**

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

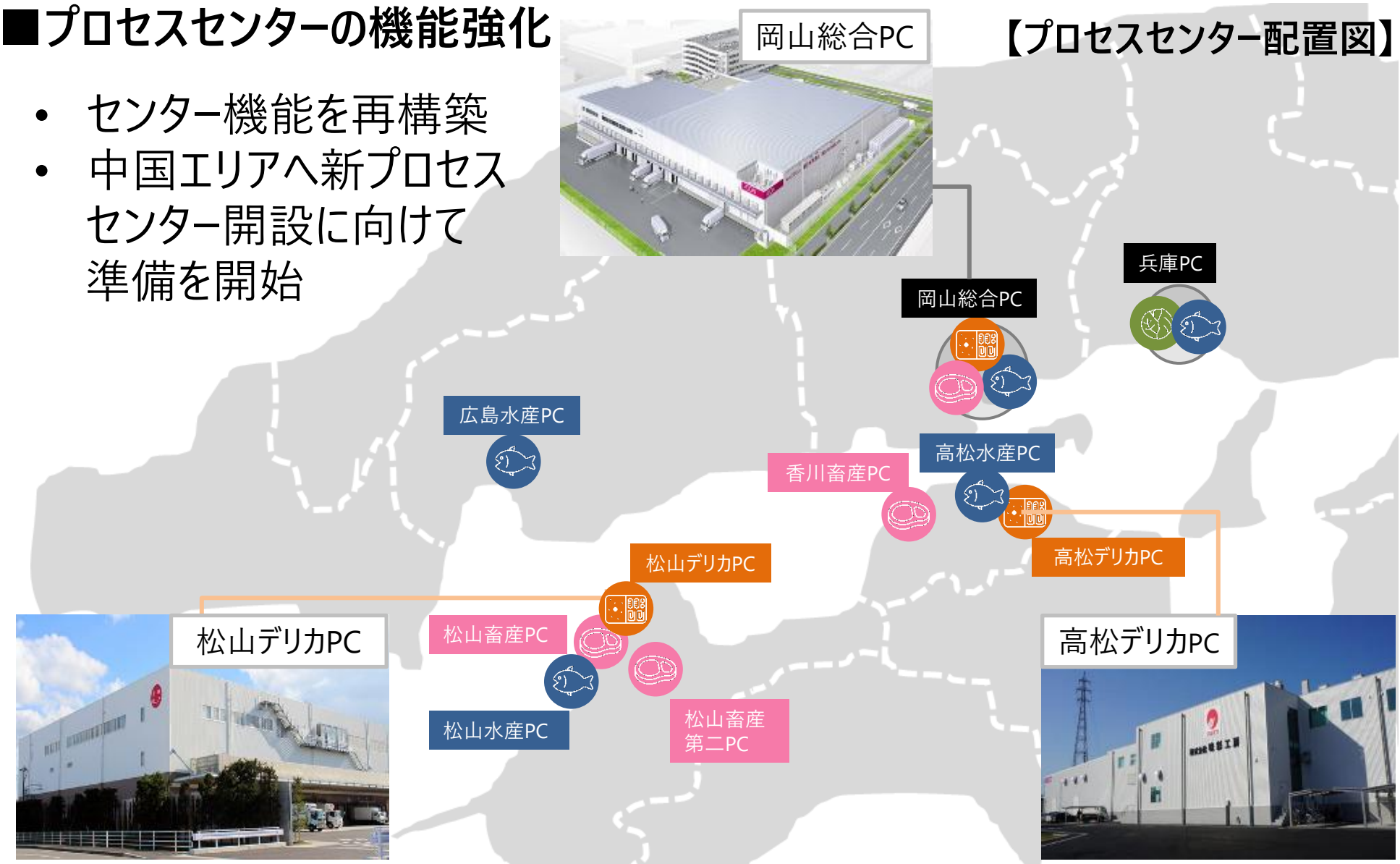
AEON

｜参考｜2026年度 取り組み事項＜物流・プロセスセンター＞

■プロセスセンターの機能強化

- センター機能を再構築
- 中国エリアへ新プロセスセンター開設に向けて準備を開始

【プロセスセンター配置図】



FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

■ プロセスセンター

- 自社ならではのオリジナル商品の開発し、簡便商品を中心に出荷量拡大
- 産地・素材・製法にこだわり、おいしさを追求
- 機械化をさらに拡大し、供給拡大・鮮度向上を目指す

＜デリカ＞

2026年度
出荷目標
200
億円

自社製玉子焼きを使った
『こだわり鶏めしの
玉子焼き弁当』

＜畜産＞

2026年度
出荷目標
240
億円

＜水産＞

2026年度
出荷目標
207
億円

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

■ デジタル投資による省人化・省力化

- セルフレジ・セミセルフレジの導入拡大（1店舗あたり**160**時間 削減）
- 電子棚札の導入拡大（2026年度中間期末時点で**229**店舗 へ導入）

継続して、中小型のフジ屋号店舗を中心に導入拡大を予定

▲フルセルフレジ

▲セミセルフレジ

▲お得情報も電子棚札で表現が可能に

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

■ 需要予測型自動発注システム

- 2025年度、全店に需要予測自動発注システムを導入
- 店舗ごとの過去の曜日や時間帯ごとの販売実績やチラシ・特売の有無などを自動で算出し、商品を自動で発注
- 店頭での発注作業の時間を削減するとともに、売場の品切れ防止や値引き・廃棄の削減を実現

2025年度　2024年度からの推移

＜売価変更削減額＞

昨年比 0.4% 削減

＜廃棄削減額＞

昨年比 11.0% 削減

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

2026年度
販促費削減
3.1億円
見込み

■ 新プロモーションの推進

- SM全店での共通販促を実施

※エフカ販促・WAON販促は、お客さまの使用されるカードに応じて適用される。

Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

■ POSシステム統合

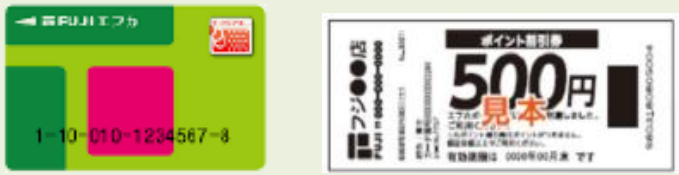
- 支払い方法の統一を推進
- フジ屋号店舗でのイオンオーナーズカードの利用が可能になる予定

＜お支払い方法の統一＞

FUJI FUJI GRAND 屋号

各種タッチ決済の利用開始

MaxValu マルナカ 屋号



エフカの利用開始

＜イオンオーナーズカード＞

＼ フジ屋号店舗でも 利用可能に！ ／

※アプリでの利用は
板カード開始後を予定

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

ＥＳＧ経営の推進	● 「サステナビリティ基本方針」にもとづく行動 ● ＥＳＧに関する定量・数値目標の設定 ● 目標達成に向けた取り組みの推進

■ ＥＳＧ実行計画

	Environment 環境			Social 社会			Governance ガバナンス
重点テーマ	• 脱炭素社会の実現	• 資源循環の促進	• 生物多様性の実現	• 地域社会への支援	• スポーツ促進、文化振興	• ダイバーシティ、働き方改革	• 法令遵守に基づく運営
取組施策	• 省エネの推進 • 節電対応 • 再エネの活用	• リサイクル資源の活用 • レジ袋、プラ資材の削減 • 食品廃棄の削減	• 環境、資源保護型商品の拡販 • 店舗、事業所の緑化	• 地域団体、ボランティア支援 • 地産地消、食育の支援 • 募金、チャリティイベント	• スポーツチーム協賛、支援 • 健康増進イベント協賛 • 伝統芸能支援、文化振興	• ワークライフバランスの確保 • 性別等による不平等解消 • 休暇、有給取得の促進	• コンプライス遵守、研修、教育 • コンプライス体制モニタリング

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

E Environment 環境

■ フードバンク・フードドライブ活動

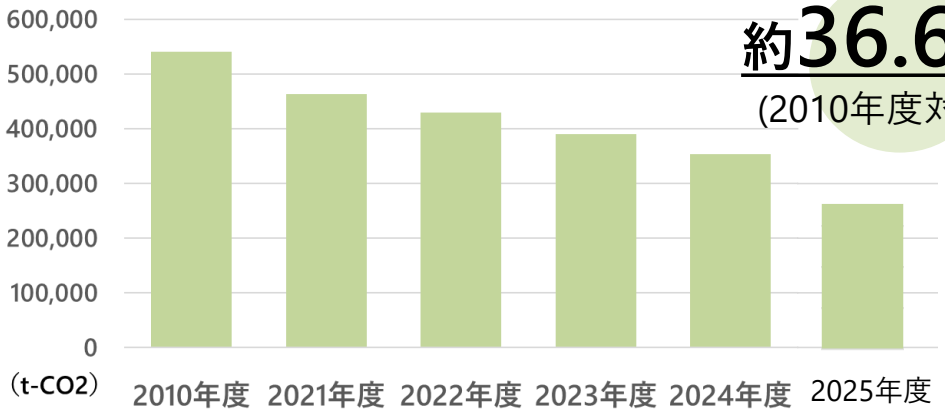
フードバンク
実施店舗
367店舗

フードドライブ
実施店舗
349店舗

■ 省エネ、創エネによる環境負荷低減の取り組み

太陽光パネル
設置店舗数
104店舗

CO_2排出量削減進捗
約36.6%
(2010年度対比)



FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

S Social 社会

■ 包括連携協定締結

イオングループ各社と連携し、各市町と包括連携協定を締結。

＜2025年度下期の締結市町＞

- ・香川県綾川市　10月31日
- ・愛媛県今治市　11月10日
- ・愛媛県新居浜市　11月12日

■ 地域スポーツ支援

【フジ主催スポーツ大会】28回

【スポーツ教室】
- シーガルズ　17回
- ヴィクトリーナ　2回
- カマタマーレ　8回

【インクルーシブ教室】
- シーガルズ　4回
- ヴィクトリーナ　1回
- 愛媛FC　1回

■ 食育教室

健康増進を目的に地域の小学校・行政スポンサーチームと連携

下半期
食育教室
12回 開催

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

■ 自治体と連携した地域の安全・安心に関する取り組み

【防災フェス】

2009年 防府豪雨災害
2014年 安佐南区土石流災害
2018年 西日本豪雨災害　　など

過去の大規模災害を“風化させない”“防災意識向上”を目的に、自治体と連携したイベントを開催

上半期
広島県安佐南区
山口県防府市
で開催

▲防府防災フェス

安佐南区
防災フェス▶

【特殊詐欺防止啓発】

岡山県東警察署

岡山県警と連携
岡山県の店舗にて、
所轄の警察と
「特殊詐欺防止
啓蒙活動」を実施

【特殊詐欺防止啓発】

広島県三原警察署

交通安全啓発を
目的に、地域の
交通課と連携し、
店舗にて交通安全
啓蒙活動を実施

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON

■ 高知県須崎市にスケートパーク SAKURA BANDA オープン

高知県須崎市と連携し、マルナカ須崎店の敷地内に中四国最大級のスケートパークを開業

2026年8月 開業

FUJI Copyright © 2026 FUJI CO., Ltd. All Right Reserved

AEON